

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名	神経内科学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期及び曜時限	前期	教室名	902教室	
担 当 教 員	山田 一貫					
実務経験と その関連資格	理学療法士として大阪回生病院・みどりヶ丘病院に勤務。 急性期・回復期・訪問・外来リハビリテーションに従事。 認定理学療法士(脳卒中)、介護支援専門員(ケアマネ)、学術修士取得。 神経学系学術発表多数。特にパーキンソン病関連の発表多数。					
《授業科目における学習内容》						
脳・神経に起因す解剖・疾患等を概説し、各疾患の特徴を説明する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト80%、小テスト20%の配分で成績評価を行う。小テストは各回合算し平均点を前半10点分、後半10点分として算出。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病気がみえる 脳・神経 Vol.7 メディックメディア 2019. 03						
《授業外における学習方法》						
学習範囲が広いため毎回の復習を推奨する。						
《履修に当たっての留意点》						
まだなじみの無い疾患が多いため、解剖等の復習をしながら、臨床実習および国家試験勉強に役立つように進めていく。						
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	神経系の構造と機能が理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テスト を行います。その範囲の復習を推 奨します。		
	各コマに おける 授業予定	神経系の構造と機能				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	大脳皮質の中の前頭葉・側頭葉・後頭葉について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テスト を行います。その範囲の復習を推 奨します。		
	各コマに おける 授業予定	大脳皮質(前頭葉・側頭葉・後頭葉)				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	大脳皮質の中の頭頂葉について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テスト を行います。その範囲の復習を推 奨します。		
	各コマに おける 授業予定	大脳皮質(頭頂葉)				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	大脳辺縁系・大脳基底核について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テスト を行います。その範囲の復習を推 奨します。		
	各コマに おける 授業予定	大脳辺縁系・大脳基底核				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	脳動脈について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テスト を行います。その範囲の復習を推 奨します。		
	各コマに おける 授業予定	脳動脈				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	脳血管障害の概要について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	脳血管障害の概要		
第7回	授業を通じての到達目標	脳梗塞(アテローム血栓性脳梗塞)について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	脳梗塞(アテローム血栓性脳梗塞)		
第8回	授業を通じての到達目標	脳梗塞(心原性脳塞栓症・ラクナ梗塞)について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	脳梗塞(心原性脳塞栓症・ラクナ梗塞)		
第9回	授業を通じての到達目標	急性期の脳卒中の治療について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	急性期の治療		
第10回	授業を通じての到達目標	脳内出血について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	脳内出血		
第11回	授業を通じての到達目標	くも膜下出血について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	くも膜下出血		
第12回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害		
第13回	授業を通じての到達目標	脳血管障害について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	脳血管障害まとめ		
第14回	授業を通じての到達目標	神経内科学 I の前半の内容について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	まとめ / 復習①		
第15回	授業を通じての到達目標	神経内科学 I の後半の内容について理解することができる。	プロジェクター マイク	毎回授業内で個人学習、小テストを行います。その範囲の復習を推奨します。
	各コマにおける授業予定	まとめ / 復習②		